別府支店地区において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成３１年３月８日

熊谷市長　富　岡　　清

記

１．会合の対象とした区域
　別府支店

２．会合の結果を取りまとめた年月日
　平成３１年３月６日

３．今後の地域の中心となる経営体の状況
　○　経営体数

法人	２経営体
個人	２１経営体
集落営農（任意組織）	１組織
合計	２４経営体

　○　農地の集積面積
　92.0ha（区域内の農地面積354.1ha、集積率26.0%）

４．今後の地域農業の在り方
　西別府地区と下増田地区では、昭和30年代の基盤整備のため、ほ場が狭く、作業効率が悪い。
　高齢化が進み、10年後に農地が維持できているか不安である。対策として、中間管理事業に絡めたほ場整備を今のうちに実施し、将来、新たな担い手が参入してくるような環境整備を行い集約化を進めていく。
　東別府地区は、基盤整備も終了しているため、中間管理事業を活用した農地の集約化を行う。
　両地区とも、当地区の農地整備推進委員会が中心となり事業を進めていく。